



託北だより「あすなろ」No.28

「和」～敬・愛・信～

令和6年6月19日(水)

熊本市立託麻北小学校

文責：小倉 秀俊



HPコード

☀️ ともあい泥リンピック

6月15日(土)に、農業体験でお世話になっている畑の隣にある田んぼで、「ともあい泥リンピック」が開催されました。雨が心配されましたが、熱中症の心配のいらぬ曇天で、たくさんの地域の方で賑わいました。託麻北小の子どもたちも、多数参加し、そりやフラッグキャッチの競技に出場し、泥まみれになっても、最後まで頑張っていました。今回は、ネパールやインドの若い人たちも参加し、国際色豊かな会になりました。自治会を中心とした実行委員会の皆さんは、昨年からの準備を進めてこられ、当日も朝早く



から会場づくりや誘導に取り組んでいらっしゃいました。改めて、託麻北校区の素晴らしい力を感じさせていただきました。



熊本市は「こどもまんなか応援サポーター」宣言をしており、今回の取組は、その一環でもあります。また、自治会では「たくきた地域食堂ともあい」も既に開催されており、子どもを真ん中に置いた取組みを行っておられます。今後も、様々な催し物を計画されていますので、参加されたいかががでしょうか。

コーヒーブレイク



1980年代の洋楽に「哀愁のマンデイ」という曲がありました。内容は過激で紹介するに堪えませんが、当時中学生だった私は、題名に共感しました。「月曜はきつい」、誰もが思っていました。これは大人になっても同じです。しかし、最近特効薬があることに気づきました。それは、子どもたちが返してくれる挨拶の声です。私は、ほぼ毎日、主事の桐原先生と交代で、正門か南門近くの横断歩道で旗振りをしています。子どもたちが登校してくる少し前から立つのですが、それまでは、年齢のせいもあり疲れが残っています。特に月曜日はきついですね。しかし、子どもたちから「おはようございます。」と挨拶が返ってくるたびに元気になります。校舎に戻るところには足取りも軽くなります。時々、「いつもありがとうございます。」「ごみを拾ってきました。」という「ご褒美」ももらいます。バターライエフェクトではありませんが、挨拶は世界を平和にすると確信させてくれる毎日です。